



報恩講

川名信之氏(91歳)・榎居政男氏(90歳)
お参りの方に差し上げるお供物を準備されています。

そのじろ母から「うちは浄土真宗やさけ、真宗の話を聞いたらいどうや」と言われ、母が聞いていた石河勝友先生に聞いたのが、私の真宗との出会いでした。初対面の石河先生から「仏法聴聞すると、絶対に救われない自分が明らかになる。その自分が知らされて、徹底して安心できるまで聞き抜きなさい」と、ズバリ言われた。

これまで私は、逃げたい、救われたい、ばっかりでした。ところが真宗では、「お前の罪は逃げられないぞ」と云う。逆です。そして

修正会

しゅしよう
え

一月二日(金)

十時～十一時半

光といのち

第157号
2026年1月1日発行

発行所

真宗大谷派勝善寺
〒299-2214
千葉県南房総市二部134
電話 0470-57-265
FAX 0470-57-229
メール info@syozenji.or.jp
URL <http://syozanji.or.jp>
お職 釋孝昌(井上孝昌)

仏法聴聞すると、絶対に救われない自分が明らかになる。その自分が知らされて、徹底して安心できるまで聞き抜きなさい。

謹賀新年

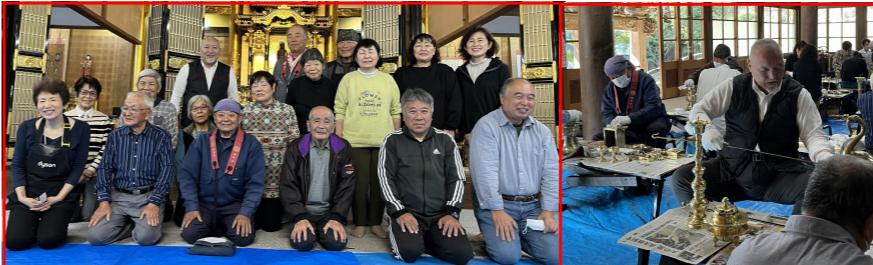
ハツと氣づいたんです。この道を突き進めばなんとかなるな、と。罪を引き受けるということやね。これまで引受けたくないの一点張りでした。

免れるふとを請けあう信仰から、逃げずに引き受けの信心の道へ、やっと出た。」

これは、太平洋戦争でフィリピンに赴き、憲兵として現地人や日本人を虐待し命を奪った罪障感に苛まれ、浄土真宗に出遇い救われた松政之氏の語ったことだ。

『向明新聞』（一九八九年一月号）「（）人あり」から抜粋しました。

百々海 真 先生は、報恩講法話の講題に「現生の利益」と掲げ、この記事をもとにお話を下さいま



佐貝磨き 池田典子 石井 久 伊藤照代 井上孝昌 井上悦子 川名悦子 川名三枝子 川名喜昭 黒川敦子 鈴木正一郎 高梨 剛 田村晋一 富澤真知子 般居政男 中山郁夫 長谷川吉枝 吉田 誠 渡邊秀子

報恩講の準備と運営

講が円成しました。
参詣者数は、遅夜二十二名、
晨朝二十名、日中八十二名、
延べ百二十四名でした。百八
十七名の方から九十七万四千
円の御懇志などが、さらに仏
花・供物米も寄せられました。

みな様のお力により、報恩
講が円成しました。



足達 崇
伊藤 照代
井上 悅子
井上 孝昌
井上 泰之
川名 信之
川名 喜昭
黒川 敦子
重田 和夫
田村 晋一
田村 徹夫
富永 清人
能重 勉
渡邊 秀子



前田瑞枝 懇志金入力 朝倉和利 川名利幸
駐車場 糸井利行 伊藤照代 重田明美
明石圭司 池田義正 狩野昌也 田中
姫松 実 三堀 清 誠

